

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立関原小学校 校長 吉丸 清昭

1 学校教育目標

- ①けんこうな子：心身ともに健康で、心豊かな児童
 ②助け合う子：確かな規範意識をもち、情操豊かで思いやりのある児童
 ③よく考える子：基礎・基本を身に付け、常に意欲的に学ぶ力のある児童

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意識を高め、豊かな心情と幅広い知識を高める。
 ②多様な資料の中から目的に応じた資料を選び、課題解決をする能力を伸ばす。
 ③読書の楽しさを知り、日常的に本に触れ、親しむ態度を養う。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書 9,584 冊（蔵書基準冊 9,160 冊）／ 蔵書率 104% ② 新規購入図書 451 冊 ／ 廃棄図書 400 冊 ／ 増減冊数 51 冊									
分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	4%	1%	7%	7%	12%	4%	3%	8%	4%	49%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時 ② 児童一人あたりの年間貸出冊数 39.66 冊（前々年度：35.17 冊） ③ 1 か月に 2 冊以上読む児童 68.29%（前年度末：66.9%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,235 冊（蔵書基準冊数 9,160 冊）／ 蔵書率 105% ② 新規購入図書 450 冊 ／ 廃棄図書 520 冊 ／ 増減冊数 -70 冊									
分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	3.7%	1.4%	7.3%	7.5%	11.5%	4.6%	3.9%	8.2%	4.5%	47.4%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時（前年度からの変更 あり・なし） ② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 41.8 冊（前年度末：39.66 冊） ③ 1 か月に 2 冊以上読む児童 65.7%（前年度末：68.29%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①発達段階に応じた本に興味をもち、楽しんで読書をしようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①授業の中で学校図書館を利用し、本を読む機会を増やす。 ②学校図書館の利用の仕方について知る。 ③学校図書館の本を活用して、読書の経験を重ねる。		①各クラス実態に応じて月に1回以上、読書などの授業を学校図書館で行う。 ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③朝学習などの時間を活用して、年間一人、30冊以上の本を読む。
目標達成状況		
① 毎週1時間以上読書活動を設けることができた。 ② 学校図書館の使い方を知るオリエンテーションを行うことができた。 ③ 概ね全ての児童が年間30冊以上本を読むことができた。		
第2学年	①発達段階に応じた本に興味をもち、楽しんで読書をしようとする意欲を高める。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を高める。	
今年度の成果目標		達成基準

①自分の興味のある本を探して読書することができる。 ②学校図書館の利用のきまりを守りながら、読書することができる。 ③学校図書館の本を活用して読書の経験を重ねる。		①各クラス実態に応じて月に2回以上読書活動・他教科と関連した関連読書等の授業を学校図書館で行う。 ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③朝学習などの時間を活用して、年間一人40冊以上の本を読む。
目標達成状況		
① 毎週1時間以上読書活動を設けることができた。生活科の昔遊びと関連付けて学校図書館を使って授業を行った。 ② 学校図書館の使い方を知るオリエンテーションを行うことができた。 ③ 概ね全ての児童が年間40冊以上本を読むことができた。		
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を利用する態度を養う。 ③資料や情報を集めて活用したり、進んで本を読んだりする態度を養う。	
今年度の成果目標		達成基準
①興味のある本だけでなく、それに関連する他の本についても読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。 ③学校図書館の本を活用して読書の経験を重ねる。 ④辞書や図鑑などからわかったことをまとめることができる。		①各クラス実態に応じて月に2回以上読書活動・探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③朝学習などの時間を活用して年間一人あたり45冊以上の本を読む。 ④ 実態に応じて調べる学習コンクールに取り組む。
目標達成状況		
① 毎週1時間以上読書活動を設けることができた。国語科の生き物調べ、総合的な学習の時間の足立区の野菜調べと関連付けて学校図書館を使った授業を行った。 ② 学校図書館の使い方を知るオリエンテーションを行うことができた。 ③ 概ね全ての児童が年間45冊以上の本を読むことができた。		
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③資料・情報を収集したり活用したり、進んで本を読んだりする態度を養う。	
今年度の成果目標		達成基準
①興味のある本だけでなく、様々な種類の本を読むことができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。 ③学校図書館の本を活用して読書の経験を重ねる。 ④辞典や図鑑からわかったことをまとめ、説明することができる。		①各クラス実態に応じて月に1回以上読書活動・探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③朝学習などの時間を活用して年間一人あたり45冊以上の本を読む。 ④実態に応じて調べる学習コンクールに取り組む。
目標達成状況		
① 毎週1時間以上読書活動を設けることができた。総合的な学習の時間の職業調べや日本の伝統文化と関連付けて学校図書館を使った授業を行った。 ② 学校図書館の使い方を知るオリエンテーションを行うことができた。 ③ 概ね全ての児童が年間45冊以上の本を読むことができた。		
第5学年	①目的に応じて適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり、深めたりしようとする態度を養う。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③多様な資料・情報を収集したり適切に活用したり、進んで本を読んだりすることができる。	
今年度の成果目標		達成基準

①目的に応じて適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 ③学校図書館の本を活用して読書の経験を重ねる。 ④本や新聞からわかったことをまとめることができる。	①各クラス実態に応じて月に1回以上読書活動・探求活動の授業を学校図書館で行う ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③年間一人あたり50冊程度の本を読む。 ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合を100%にする。
---	--

目標達成状況

① 毎月2回程度読書活動を設けることができた。SDGsの教育、総合的な学習の時間のお米調べと関連付けて学校図書館を使った授業を行った。 ② 学校図書館の正しい使い方・分類法について知る授業を担当が行った。 ③ 概ね全ての児童が年間50冊以上の本を読むことができた。 ④ 全ての児童が調べる学習コンクールに参加することができた。
--

第6学年	① 目的に応じて適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり、深めたりしようとする態度を養う。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③ 多様な資料・情報を収集したり適切に活用したり、様々な種類の本を進んで読んだりすることができる。
-------------	---

今年度の成果目標

今年度の成果目標	達成基準
①調べる目的に応じて適切な本や新聞を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 ③学校図書館の本を活用して読書の経験を重ねる。 ④複数の本や新聞からわかったことをまとめることができる。	①各クラス実態に応じて月に1回以上読書活動・探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②学校司書と協力して、学校図書館オリエンテーションをする。 ③年間一人あたり50冊程度の本を読む。 ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合を100%にする。

目標達成状況

① 毎月3回程度読書活動を設けることができた。SDGsの学習、総合的な学習の時間の世界の国調べと関連付けて学校図書館を使った授業を行った。 ② 学校図書館の正しい使い方・分類法について知る授業を担当が行った。 ③ 概ね全ての児童が年間50冊以上の本を読むことができた。 ④ 全ての児童が調べる学習コンクールに参加することができた。
--

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・情報が古い本や傷ついた本の除籍作業を行う。それと並行して、足りない分類の本の補充を行っていく。	・9類の本の廃棄選定を行い、主に4類の図書を購入した。 ・請求番号を3桁へ統一し、張り替え作業を進めた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・委員会と連携しておすすめ本の設置を継続して行う。 ・委員会と連携してビブリオバトルブックトークの実施、支援を行う。 ・授業の必要に応じて図書資料の収集を行う。 ・教員向け・児童向けのオリエンテーションを行う。	・年度初めに教職員、児童向けの学校図書館オリエンテーションを行った。 ・図書委員会と連携して学校図書館の掲示を作成した。 ・各学年の必要に応じて図書資料の収集、ブックトーク、読み語りなどを行った。 ・季節に応じたおすすめ本、図書委員会が選んだおすすめ本を設置した。 ・各学年の国語の年間指導計画をもとに、関連図書を常時学校図書館に設置した。
【その他】 ・児童が安全に学校図書館を使用できるように使用前後の手洗いの徹底、返却後の対応等環境整備を整える。	・児童がどこにどんな本が置いてあるのかすぐわかるように、学校図書館支援員と協力して分類番号表示の環境整備を行った。 ・児童が安全に学校図書館を使用できるように使用前後の手洗いの徹底、返却後の対応等環境整備を整えた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

学校図書館の運営にあたっては、学校図書館支援員、図書委員会の児童と連携しながら環境整備に努めた。今年度の図書委員会ではポップを付けたおすすめ本の設置、読書ビンゴ、図書クイズや学校図書館ルールの掲示等、読書推進活動として充実した取り組みができた。

また、「教員読み聞かせ会」を全校で実施し、教員の様々な工夫により、本に興味をもち進んで読む児童が増えた。

そして、例年取り組んでいる「学校図書館を使った調べる学習コンクール」には、高学年児童全員が取り組むことができた。過去の児童の入選作品も学校図書館に常設しているので、それを参考にしながら児童たちは取り組むことができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・朝読書の推進をしてほしい。→次年度、学校図書館支援員による低学年への読み聞かせ時間の確保を検討している。
- ・読書貯金の改訂→クロームブックを活用し、電子データで読書貯金を貯める方法を検討している。
- ・地域との連携→団体貸出の組織づくりを検討している。